

第4回 基本問題・影響調査専門調査会 ポジティブ・アクション ワーキング・グループ議事要旨

(開催日時等)

- 1 日時 平成23年5月11日(水) 10:00~12:00
- 2 場所 永田町合同庁舎1階 第1共用会議室
- 3 出席者
 - 座長 今野浩一郎 学習院大学教授
 - 座長代理 鹿嶋敬 実践女子大学教授
 - 委員 渥美由喜 株式会社東レ経営研究所がバリエーション&ワークライフバランス研究部長
 - 同 碓井光明 明治大学大学院教授
 - 同 川本裕康 社団法人日本経済団体連合会常務理事
 - 同 黒瀬友佳子 帝人クリエイティブスタッフ株式会社人財部がバリエーション推進室長
 - 同 小林良彰 慶應義塾大学教授
 - 同 辻村みよ子 東北大学大学院教授
 - 同 横山久雅子 前白井市長

(議事次第)

- 1 開会
- 2 委員からのプレゼンテーション
・渥美由喜委員
- 3 自由討議
- 4 閉会

(配布資料)

- 資料1: 「企業の現場からみたポジティブアクションー国内外700社ヒアリング、3000社データ分析からー」(渥美由喜委員資料)
- 資料2: これまでのワーキング・グループにおける意見の概要(未定稿)
- 資料3: 論点整理に向けた検討課題について(案)
- 資料4: ポジティブ・アクションの政策体系(今野浩一郎座長資料)

(議事概要)

- ・渥美委員から、企業の現場からみたポジティブ・アクションについて発表があり、その後、質疑応答が行われた。
- ・事務局から、これまでのワーキング・グループにおける意見の概要及び論点整理に向けた検討課題について説明を行った。
- ・今野座長から、論点整理に当たっては、①政治、②行政、雇用、科学技術・学術分野の各分野について、ポジティブ・アクションの政策体系を整理することが提案され、了承された。
- ・委員からは、第3次男女共同参画基本計画を実効性のあるものとするためにどのように具体化すべきか、政治分野については複数の選択肢を示したらどうか、などの意見が出された。
- ・次回は、6月3日(金)に論点整理に向けた検討を行う予定である。